



## 自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

8/5(火)

テーマ: 自主企画「ゴミは宝物～世の中を変えるには、自分自身が変わらずにいること～」

26社26名

講師: 浦安市倫理法人会 DJ KOUSAKU 氏



KOUSAKU氏は、1967年東京足立区生まれ。母から戦争の話を聞いて育ったKOUSAKU氏は、高校2年時の修学旅行で訪れた広島で、被爆者の実話を聞き、平和について真剣に考えた。

高校卒業後、約2年間アパレル会社で営業勤務するが、自分を変えたくて退職を決意、イギリスに留学する。列車でヨーロッパを周り、国が変われば生活習慣、食べ物、風土、そして常識までもが異なることを体感する。また、子供も皆環境に配慮して、レジ袋をもらわないことに驚き、日本の良さと、環境への意識の低さの両面を知った留学だった。今から20年前のことだ。

帰国して、芸能界入りし、ドラマ、バラエティ番組でレギュラー出演するまでになったが、「これが本当に自分のやりたいことだ」という意識はまだ持てなかった。歌の世界にのめり込むと、全てのレギュラーも事務所も辞め、川崎のライブハウスでハコバンのヴォーカリストとなり、CDデビューを目指した。

月曜日から土曜日まで毎日ステージ練習に励み、1991年ソニーより、バンド・ハロウィンパーティーで念願のデビューを果たす。だが、「目標設定は大切です。目標をデビューに置いていたから、デビューしても無名のまま。何も変わらなかった。翌年このバンドは解散しました」という。

自分の生き方を改めて探したKOUSAKU氏は、FMラジオ専門事務所サンディに入る。以来約15年間ラジオの世界で大活躍、現在は千葉ロッテマリーンズのスタジアムDJ、全日本バレーボールの応援DJ・マッチナビゲーターでもある。

KOUSAKU氏には、一つの信念がある。「評論家ではなく、ジャーナリストでありたい」。知識だけで語るのではなく、実際に自分の目で見て気持ちで伝える。自分で体験するとよく分かる。倫理の講話もそうだが、うまくいっている会社の社長さんは、ジャーナリストだ。

ITが発達した現代では、ラジオは広告媒体としては確かに苦しい。しかし、それでもラジオの人気落ちないのは、リスナー同士が心でつながっているからだ。「ラジオオというものは、ブースの中での究極の独り言。でも、たった一人の人に向けてしゃべる、マイクの向こうの一人一人に話すイメージが大事」という。

また、KOUSAKU氏は、大先輩であるDJポッキー氏に受けた影響も大きいと話す。DJポッキー氏は、まだこれからFMラジオが始まるという時代に、自分を売り込みにFM局を訪ね、スポンサーが必要だと言われると、企業を回り、10件ほどのスポンサーを得て、番組をスタートさせた。KOUSAKU氏は、このパワーに憧れた。

『湾岸まるごとゴミ拾い』 11/24(月祝)朝9時～11時  
午後はマリスタジウムでスペシャル象徴イベント  
詳しくは⇒ <http://www.marugomi.jp>

KOUSAKU氏自身が始めた、環境を考えるゴミ拾いボランティア団体、U-PROJECTが主体となって、千葉県、市、企業、市民らで実行委員会を組織、一日のゴミ拾い参加人数が世界最大級規模となる「湾岸まるごとゴミ拾い」を11月24日に開催する。

KOUSAKU氏は、現在2児の父だが、2006年秋に奥様を病気で亡くされている。その時に、今まで自分がやってきたことが、何だか薄っぺらいものに感じ、また同時に、生きる意味、命、子供たちのために何が出来るか、真剣に考えたそう。

便利さを追い求めた結果、自分さえよければという「利己愛」が充満して、連日犯罪が起り、深刻な環境問題を抱えた今の世の中。その利己愛の象徴がゴミだと考える。他人を思う気持ち「利他愛」を、安心して暮らせる街を、この思いがU(あなた)-PROJECTになった。KOUSAKU氏は、「きっかけは、午後のマリスタジアムでのライブ見たさにゴミ拾いでもいい。やっているうちに意識は変わってくる。ラジオのように心と心でつなげて、ジャーナリストの目で伝えていきたい」と熱い思いを語る。

## 次回 第889回MS! 8/12(火)6時～7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-1777)

テーマ 「思いと行動」

講師 千葉県倫理法人会 佐藤 陽子 女性委員長

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく